学会前のチェックリスト

伝わる学術ポスター　7つの質問

掲示する前に、7つの質問すべてに「はい」と言えるかを確かめてください。一人でも、指導者や同僚と一緒でも使えます。指導する方は、指摘の先頭に質問の番号を付けて返すと、直す人がこの表で理由を確かめられます。

発表者 _____　学会・日付 _____　確認日 _____

1 タイトルは、いちばん伝えたいことを一文で言っているか

タイトルが主題名（「〇〇の検討」）ではなく、いちばん伝えたいことを述べた文になっていますか。結果の研究なら結論の文（「〇〇は△△を2倍にした」「〜では差が出なかった」）、症例や方法の報告なら、伝えたい事例や方法の文です。紙面の色や枠の強調は、いちばん伝えたいことにかかわる所だけですか（目安は1節に1か所）。

直すところ .....

2 離れて3秒見て、何の話で何が分かったかが言えるか

3メートル離れて、印刷前なら画面を小さく表示して、3秒だけ見ます。何の話で、何が分かったかを言えますか。タイトルと、いちばん伝えたいことを示す図（以下、主図）は、離れても読める大きさですか。本文はA0縦で32ptを基準に、28pt未満になっていませんか。見出しと本文の大きさに段差がありますか。

直すところ .....

3 最初の一行は、読み手が知っている言葉で問いを立てているか

タイトルか最初の節の冒頭に、聴衆が普段使っている言葉で書いた問いが一行ありますか。略語や専門用語は後ろに回していますか。答えを予想したくなる大きさの問いになっていますか。

直すところ .....

4 いちばん伝えたいことを示す図を1枚に決め、ほかの図より目立たせたか

主図を1枚決め、ほかの図より大きく、または枠で区別していますか。主図のキャプション（図の下に添える説明。1文目が図の題）の1文目に、図が示すことを書いていますか。ほかの図は消さなくてかまいません。

直すところ .....

5 図だけを見て、何を読み取ればよいか分かるか

線や棒に直接名前を書ける図では、凡例をやめていますか。軸・単位・対象の人数（n）が図の中にあり、キャプションの1文目とあわせて、図の読み方が分かりますか。軸の文字は読める大きさですか。見てほしい箇所に番号や矢印があり、本文と番号で対応していますか。

直すところ .....

6 残したものすべてに、残す理由を言えるか

載せた文・図・装飾の一つひとつについて、いちばん伝えたいことを理解してもらうのに要る理由を言えますか。言えないものは外します。細部は、論文やQRコードで開く資料に移します。演題番号・COI（利益相反）の開示・倫理審査の承認・対象の人数（n）など、学会が求める要素や、研究の報告に欠かせない要素は残します。

直すところ .....

7 読み終えた人が、次に何をすればよいか分かるか

連絡先・ポスターPDF・関連する論文の入手先（URL）が、QRコードとあわせて一か所にありますか（撮影や配布を制限する学会では、規程に従います）。「まだ分からないこと」を一行書き、見た人が話しかけやすくしていますか。

直すところ .....

数値の目安と合わせて使います。文字の大きさ・色の数などの数値の目安は、ポサコデザインシリーズ①の最終回「印刷前チェックリスト（10項目）」にまとめています。7つの質問では、数値の目安を満たしたうえで、読む人に伝わるかどうかを確かめます。